



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省中国地方整備局
浜田河川国道事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ



2018年（平成30年）1月24日

資料提供先：島根県政記者会
浜田記者クラブ

【山陰道】^{はまだ}浜田・^{みすみ}三隅道路の 全線開通1年後の整備効果をお知らせします。

平成28年12月18日に全線開通した浜田・三隅道路の開通1年後の整備効果について、お知らせします。

～開通による主な整備効果～

整備効果1 安全安心：死傷事故件数の減少により生活環境向上を支援

^{はらい}原井IC～^{いわみみすみ}石見三隅IC間の**死傷事故件数**は全線開通前より**約5割減少**（13件/年減少）。

整備効果2 医療：搬送時間の短縮により救急医療活動を支援

- ・浜田市消防本部三隅出張所の**救急搬送の9割以上が浜田・三隅道路を利用**。
- ・浜田・三隅道路の利用により、**搬送時間が約16分短縮**したことによる**速達性の向上と安静搬送が実現**。

整備効果3 企業活動：大型店舗の物流効率化を支援

- ・大型商業施設が物流ルートを浜田自動車道や山陰道を通るルートに見直すなど、**速達性・走行性・安全性が向上し、企業活動の物流効率化に寄与**。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所

副所長（道路） ^{やまもと}山本 ^{たかゆき}孝行

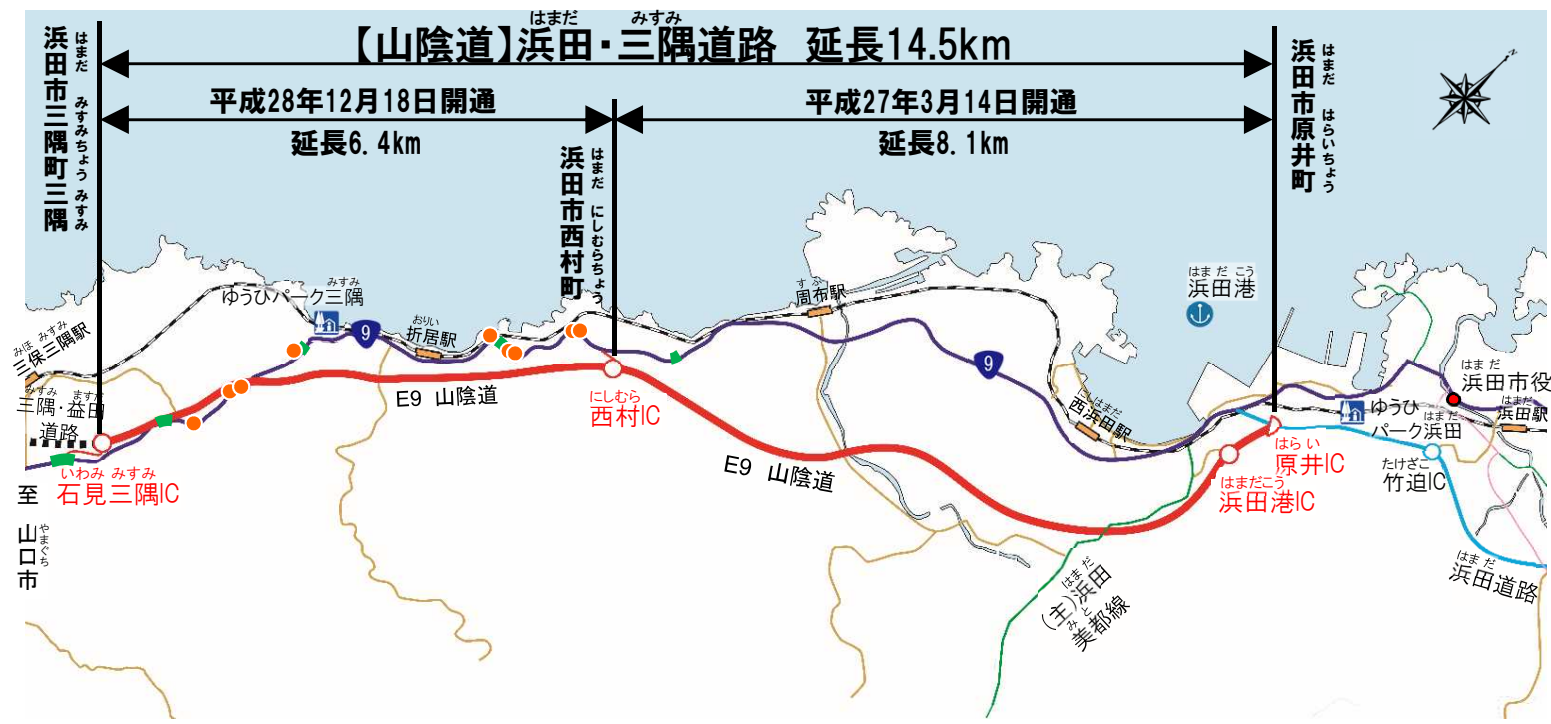
【担当】 調査設計課長 ^{ひらの}平野 ^{みきひと}幹人

電話番号 0855-22-2480（代表）

U R L <http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

【整備効果1】安全安心：死傷事故件数の減少により生活環境向上を支援

●原井IC～石見三隅IC間の死傷事故件数は、全線開通前より約5割減少(13件/年減少)しました。



並行区間 (国道9号)	全区間
縦断勾配 $i > 5.0\%$	5区間
平面線形 $R < 150m$	9箇所

<道路凡例>	
—	山陰道 (開通区間)
- - -	山陰道 (事業中区間)
—	山陰道 (開通済区間)
—	一般国道 (直轄)
—	一般国道 (補助)
—	主要地方道
—	一般県道

浜田・三隅道路開通前の国道9号事故状況

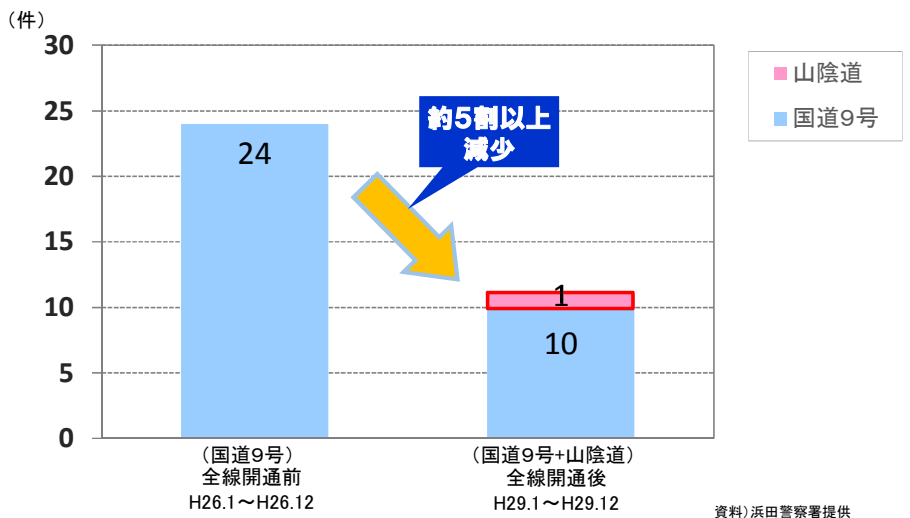
死傷事故件数の推移(原井IC～石見三隅IC間)



▲浜田市三隅町白砂 (発生日:平成25年8月)



▲浜田市三隅町森溝上 (発生日:平成25年3月)

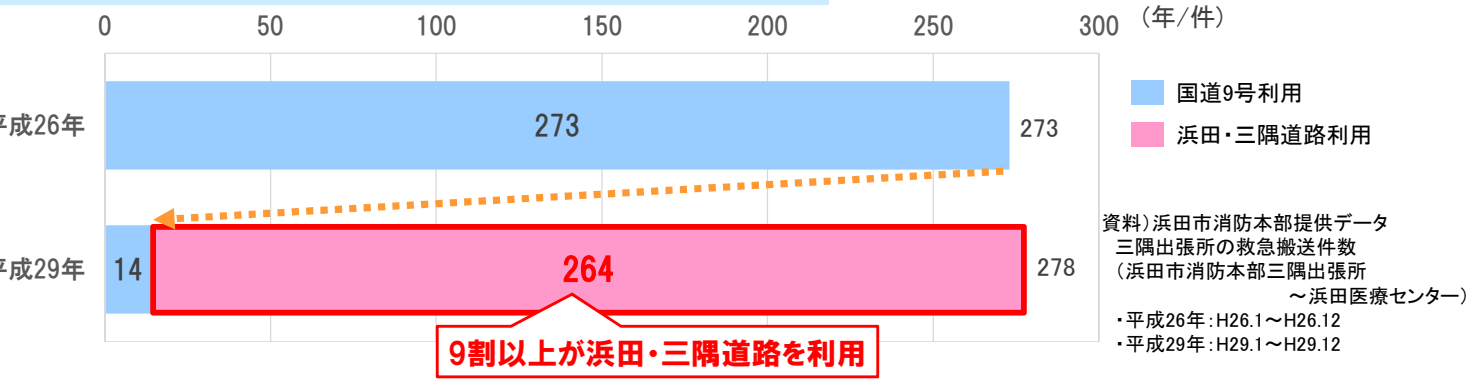


資料)浜田警察署提供

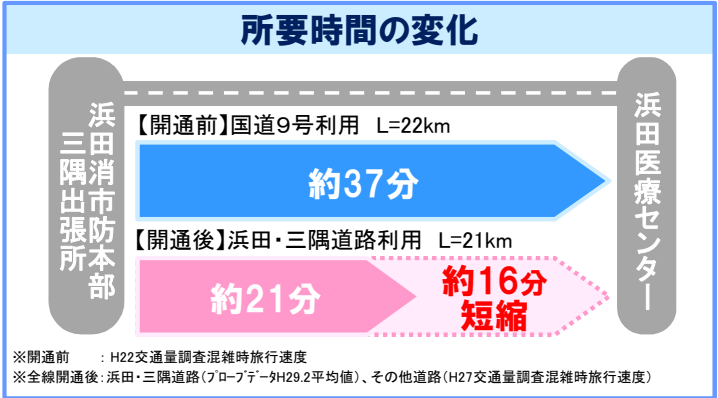
【整備効果2】医療：搬送時間の短縮により救急医療活動を支援

- 浜田・三隅道路の開通後、浜田市消防本部三隅出張所からの救急搬送の9割以上が浜田・三隅道路を利用しています。
- 浜田・三隅道路の開通により、救急患者の搬送時間が約16分短縮したことによる速達性の向上と安静搬送が実現しました。

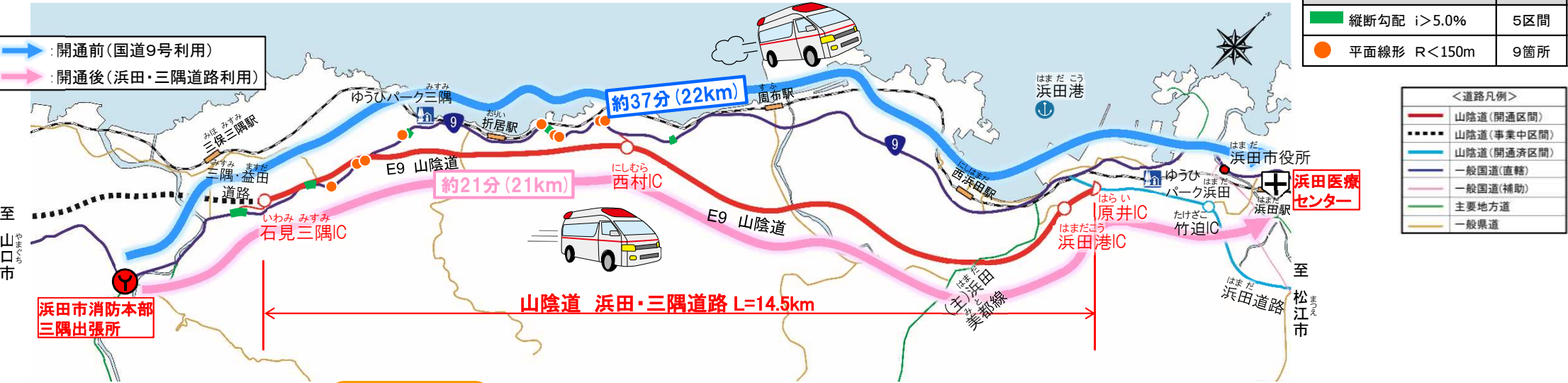
浜田・三隅道路又は並行する国道9号を利用した搬送件数



9割以上が浜田・三隅道路を利用



浜田市消防本部三隅出張所から浜田医療センターへの所要時間の変化



消防隊の声

- ・浜田・三隅道路は振動が少なく、安静搬送が必要な患者搬送に助かります。
- ・患者の搬送後も浜田・三隅道路を利用することで早く戻ることができ、次の出動に向けた準備にも早く入ることができます。

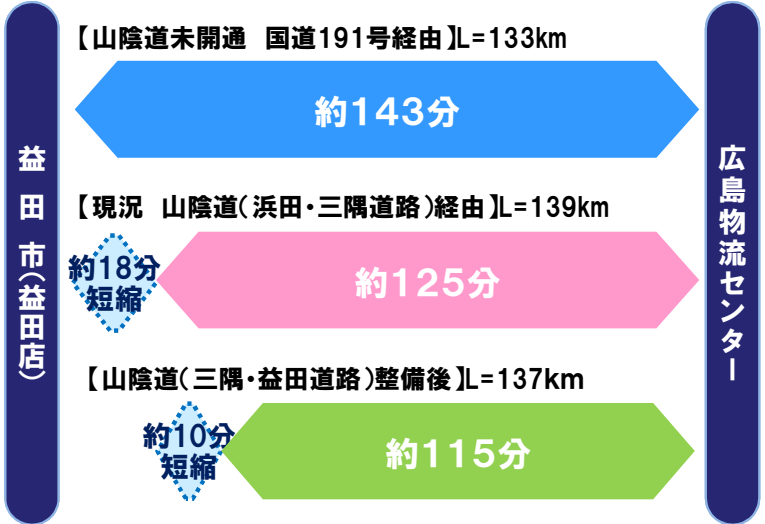
(浜田市消防本部 ヒアリング結果)



【整備効果3】企業活動：大型店舗の物流効率化を支援

- 浜田・三隅道路の開通により、大型商業施設が物流ルートを浜田自動車道と山陰道を通るルートに見直すなど、速達性・走行性・安全性が向上し、**企業活動の物流効率化に寄与**しました。
- 山陰道の更なる整備により、**山陰地域の店舗における集客範囲の拡大**が期待されます。

配送時間の短縮



益田市(益田店)

広島物流センター

山陰道未開通時: H22交通量調査混雑時旅行速度
 現況 : 浜田・三隅道路(プロブテ-タH29.2平均値)、その他道路(交通量調査混雑時旅行速度)
 山陰道整備後 : 三隅・益田道路(規制速度)、浜田・三隅道路(プロブテ-タH29.2平均値)、その他道路(H27交通量調査混雑時旅行速度)

企業の声

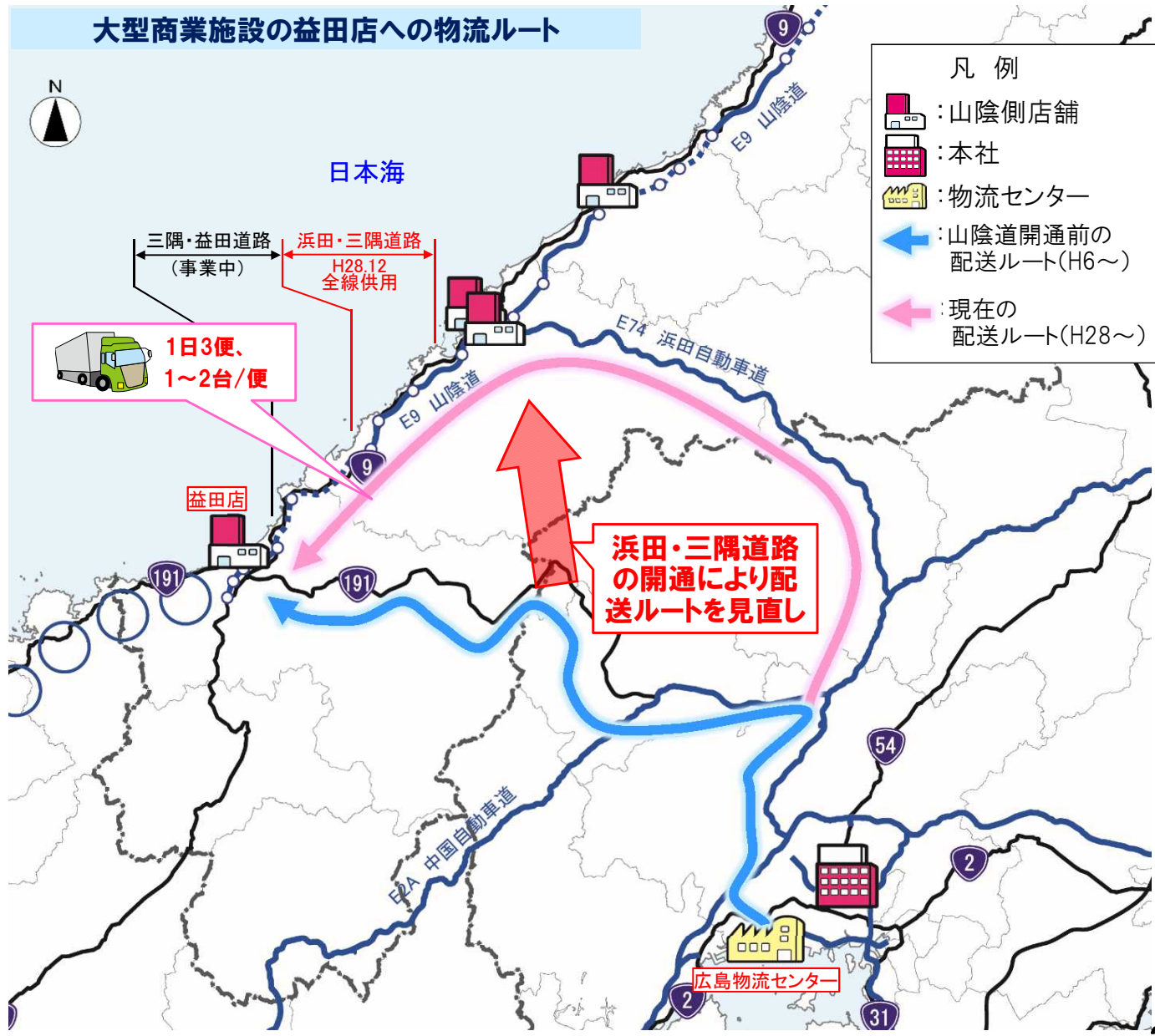
・山陰道(原井IC～石見三隅IC)が開通するまでは益田への配送は国道191号を利用していたが、開通後は、**配送時間の短縮と、安全性や確実性を考慮して、山陰道ルートの利用に変更**した。

・山陰側は人口の減少傾向が強いなかで、売上げの確保のためにも**集客範囲の拡大**が重要です。

(本社物流担当ヒアリング結果)



大型商業施設の益田店への物流ルート





【参考資料1】山陰道と国道9号の交通量の変化

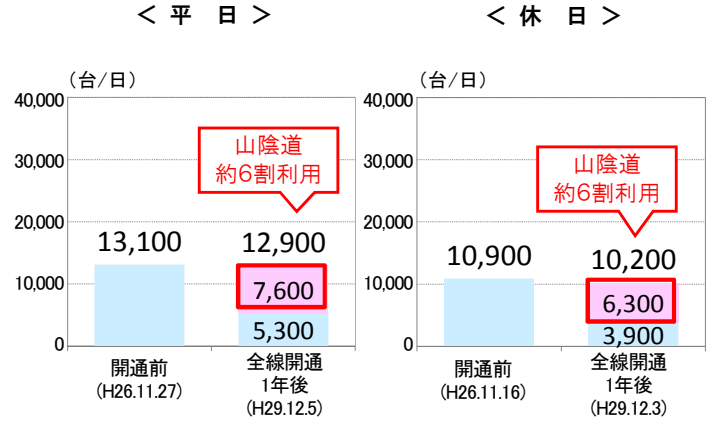
- 浜田・三隅道路の交通量(平日)は、約7,600台/日～9,200台/日となり、断面交通量の約3～6割が山陰道を利用しています。
- 浜田・三隅道路の交通量(休日)は、約6,300台/日～7,900台/日となり、断面交通量の約4～6割が山陰道を利用しています。



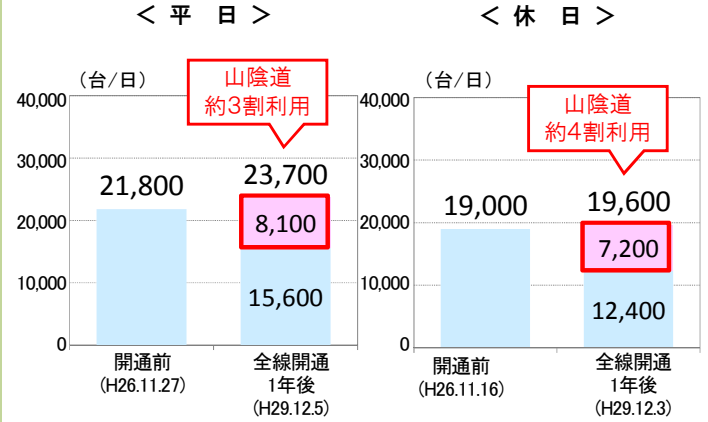
—	山陰道(開通区間)
- - -	山陰道(事業中区間)
—	山陰道(開通済区間)
—	一般国道(直轄)
—	一般国道(補助)
—	主要地方道
—	一般県道

山陰道及び国道9号の断面交通量の変化

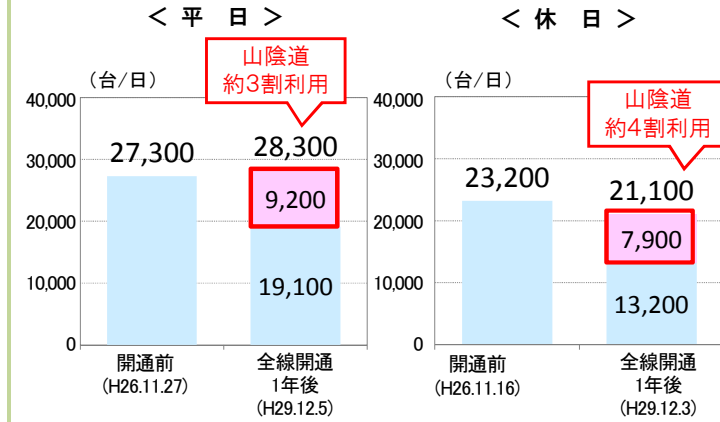
断面1



断面2



断面3



■ 山陰道 ■ 国道9号 ※山陰道はトラフィックカウンターによる計測(24h) ※国道9号は人手観測(24h)

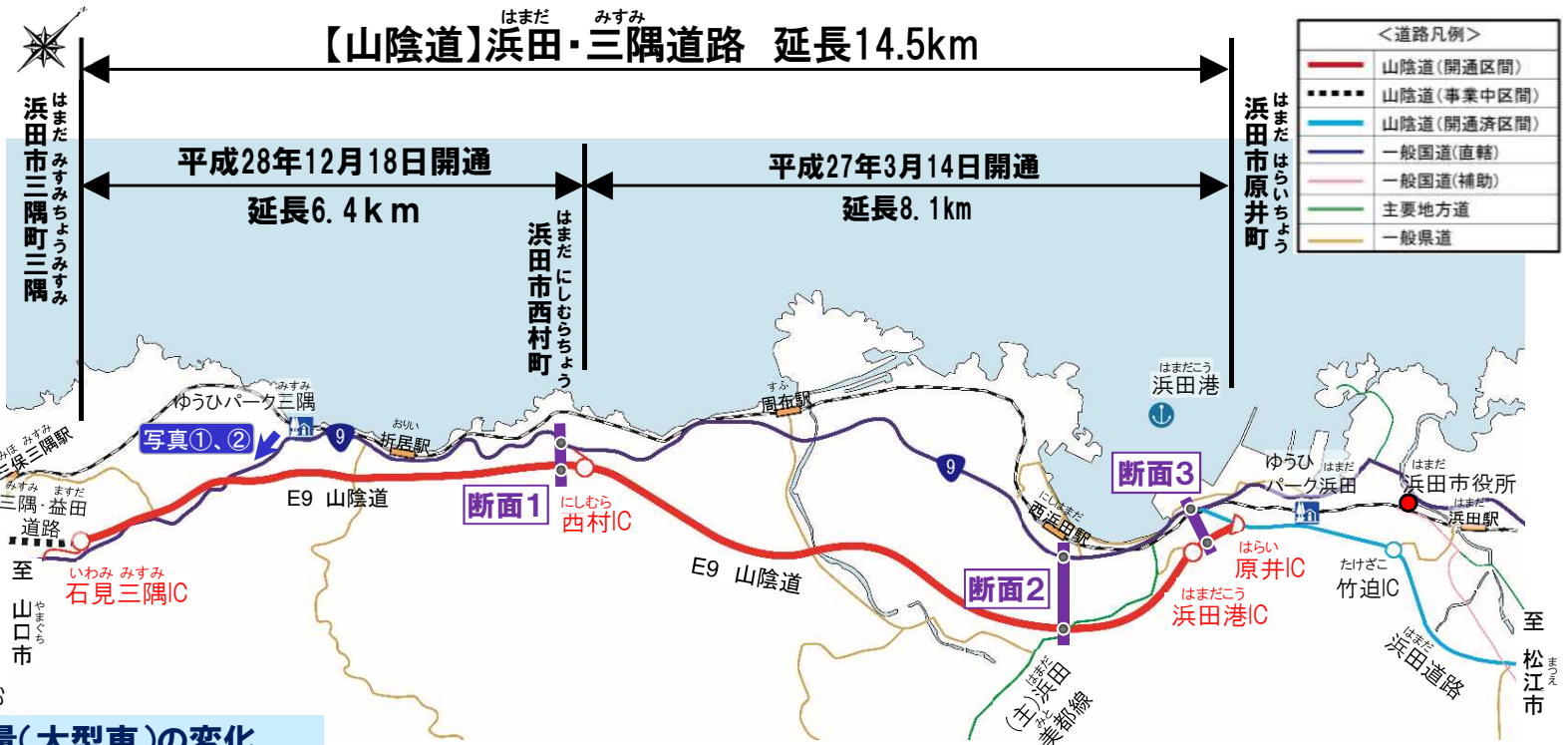


【参考資料2】山陰道と国道9号の交通量の変化(大型車)

- 浜田・三隅道路の大型車交通量(平日)は、約1,900台/日～2,200台/日となり、断面交通量の約7～8割が山陰道を利用しています。
- 浜田・三隅道路の大型車交通量(休日)は、約1,000台/日となり、断面交通量の約8～9割が山陰道を利用しています。

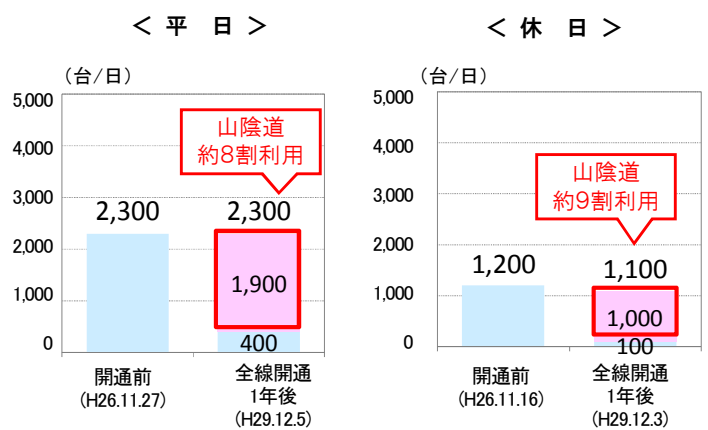


道の駅ゆうひパーク三隅付近から山口方面を望む

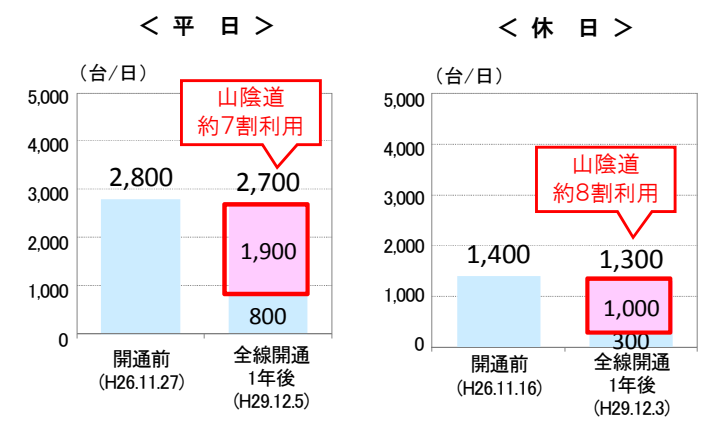


山陰道及び国道9号の断面交通量(大型車)の変化

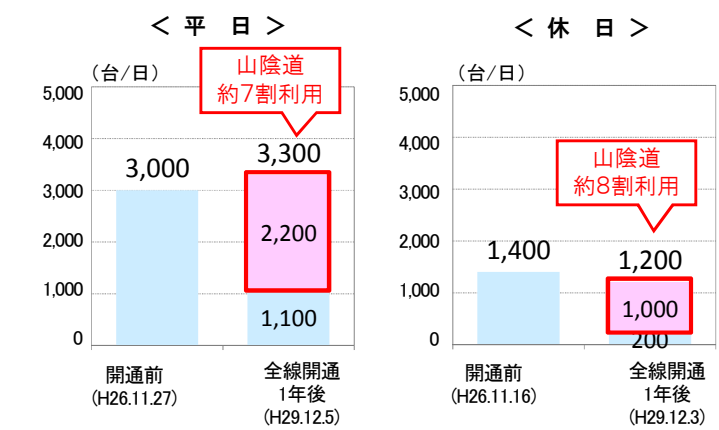
断面1



断面2



断面3



■ 山陰道 ■ 国道9号 ※山陰道はトラフィックカウンターによる計測(24h) ※国道9号は人手観測(24h)